

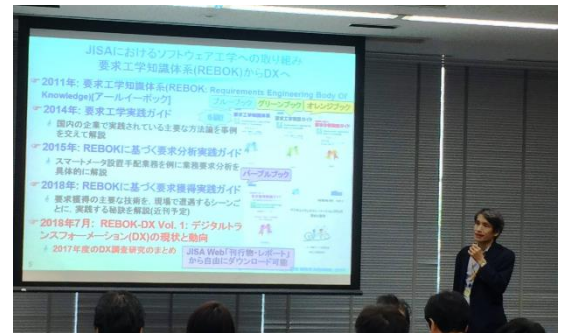
ソフトウェア工学実践シンポジウム (SEPS) 2018

～DX(デジタルトランスフォーメーション)推進と解決へのアプローチ～

開催

平成 30 年 10 月 5 日(金)、JJK 会館にて先進技術委員会(青山幹雄、南山大学教授)主催、独立行政法人情報処理推進機構後援、(一社)日本情報システム・ユーザー協会協賛、「ソフトウェア工学実践シンポジウム (SEPS) 2018」が開催された。参加者は約 120 名。

午前はシンポジウム全体を俯瞰する講演として、まず青山幹雄要求工学実践部会部会長が「JISA におけるソフトウェア工学への取り組み」と題して本会の活動、SEPS の胆道等紹介を行った。続いて、和泉憲明(経済産業省 商務情報政策局情報産業課)を招き 9 月 7 日に経済産業省から公開された「DX レポート: ～IT システム『2025 年の崖』の克服と DX の本格的な展開～」の紹介及びタウンミーティングを行った。



午後は、経験報告、ソフトウェア工学実践事例、参加者に体験頂けるワークショップを行った(各セッション概要は[プログラム](#)参照)。

いずれのセッションにおいても質疑が活発に行われて、講演終了後には情報交換パーティを開催では、経験報告の表彰が実施される等、盛況のうちに散会した。

～ 経験報告 表彰 ～

経験報告 最優秀賞

- ・「要求文書における曖昧表現の見直し」

【報告書】 斎藤忍(日本電信電話(株))

【共同研究者】 飯村結香子、山田節夫

経験報告 優秀賞

- ・「要求仕様書の記述を支援する記述ガイドの作成と評価」

【報告書】 不破慎之介((株)デンソークリエイト)

【共同研究者】 蛸島昭之、山田ひかり

経験報告 最優秀賞

- ・「OSS によるプライベートクラウド大量サーバ構築の自動化」

青木駿亮(JFE システムズ(株))

(溝尾)